

STAR

キャビンアタッチ

取 扱 説 明 書

製品コード
型 式

K93405
AJC1800

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIアグリテック

はじめに

- このたびは、キャビンアタッチ付き自走マニユアスプレッタをお求めいただきありがとうございました。
この取扱説明書は正しい取り扱い方と日常の点検、整備について記載してあります。
この取扱説明書およびJMS1800シリーズの取扱説明書をよくお読みになって
充分ご活用いただき、いつまでもご愛用ください。
- お読みになった後はいつでも取り出せるように保管し、わからないことがあったときにお読みください。
- 自走マニユアスプレッタを貸与または譲渡される場合には、取扱説明書も添付してお渡しください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買上げの販売店にご注文ください。
- 下記のマークのついた項目は安全上、特に重要な項目ですので、必ず守ってください。



—— この項目を守らなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



—— この項目を守らなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



—— この項目を守らなかった場合、けがを負うおそれがあるものを示します。

[取扱いの注意] —— 操作上特に注意すべきことや、本機固有の事項ならびに、守らないと本機の性能、寿命に影響を及ぼす事項を示します。

品質、性能向上のため、部品の変更を行う場合があります。
その際、本書の内容と一部異なる場合がありますのでご了承ください。

本キャビンは以下のマニユアスプレッタ用のアタッチメントです。
JMS1800シリーズ

目 次

■ 安全に作業するために	2
■ サービスについて	3
■ 本製品の使用目的について	3
■ 各部の名称	4
■ 使用方法	
1. ドアキャッチ、変速レバーカバー	5
2. ヒータの操作方法	6
3. ワイパーの操作方法	7
4. ルームランプの操作方法	7
5. ラジオの操作方法	8
6. 作業灯	11
■ 点検と整備	12
■ 故障と対策	12

■安全に作業するために

ここに記載されている注意事項を守らないと死亡を含む傷害事故や、機械の破損を生じるおそれがあります。

●全般の注意事項

警告 必ずシートに座って運転する

必ずシートに座って運転してください。
キャビンの外から手を伸ばして運転しないでください。

★守らないと
障害物に挟まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告 走行中は窓から手や首を出さない

走行中は窓から手や首を出さないでください。

★守らないと
障害物に挟まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

注意 ドアに挟まれないように注意する

ドアを開けたまま作業する時はドアキャッチで
ドアを固定してください。

★守らないと
ドアに挟まれて、けがをするおそれがあります。

注意 作業中は周囲に注意する

キャビン内は周囲の音が聞こえにくくなったり
視界が悪くなったりしますので、作業中は周囲に
注意してください。

★守らないと
思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

■サービスについて

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときは12ページの「故障と対策」に従って、点検してください。
なお不具合がある場合はお買上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 型式
- 製造番号
- 購入年月日
- 使用状況
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく

覚 え	
型 式	AJC1800
製 造 番 号	
購 入 年 月 日	年 月 日

製造番号はキャビン後面の型式銘板に打刻してあります。

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。
ただし供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■本製品の使用目的について

キャビンアタッチは、寒冷時や降雨時の堆肥散布作業を快適に行うことを目的としたアタッチメントです。

目的以外の作業に使用しないでください。

また、改造は行わないでください。

■各部の名称



キャビンアタッチ付き仕様は車両質量が約140kg増加します。

■使用方法

1. ドアキャッチ、変速レバーカバー



ドアを開けたまま作業するときは、ドアキャッチでドアを固定してください。
守らないとドアに挟まれて、けがをするおそれがあります。

ドアをいっぱい開くと、ドアキャッチで固定されます。
ドアを開けたまま作業する時は、ドアキャッチでドアを固定してください。

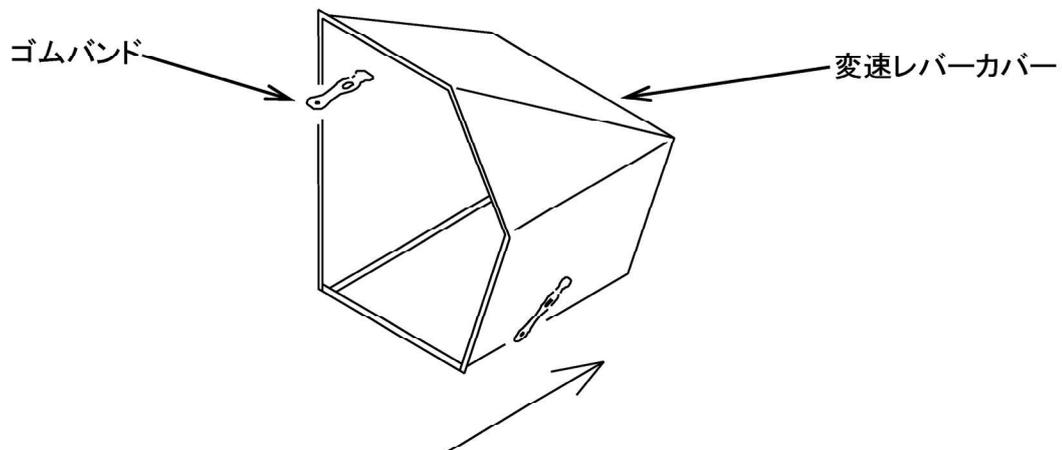


ドアキャッチ解除ボタン

ドアをいっぱい開いた状態

ドアを閉めるときは、ドアキャッチ解除ボタンを押しながら閉めます。

変速レバーカバーはゴムバンドを外すと取り外すことができます。

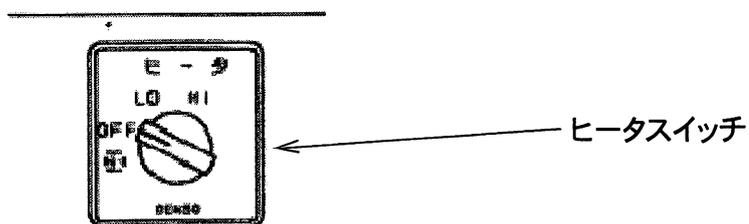
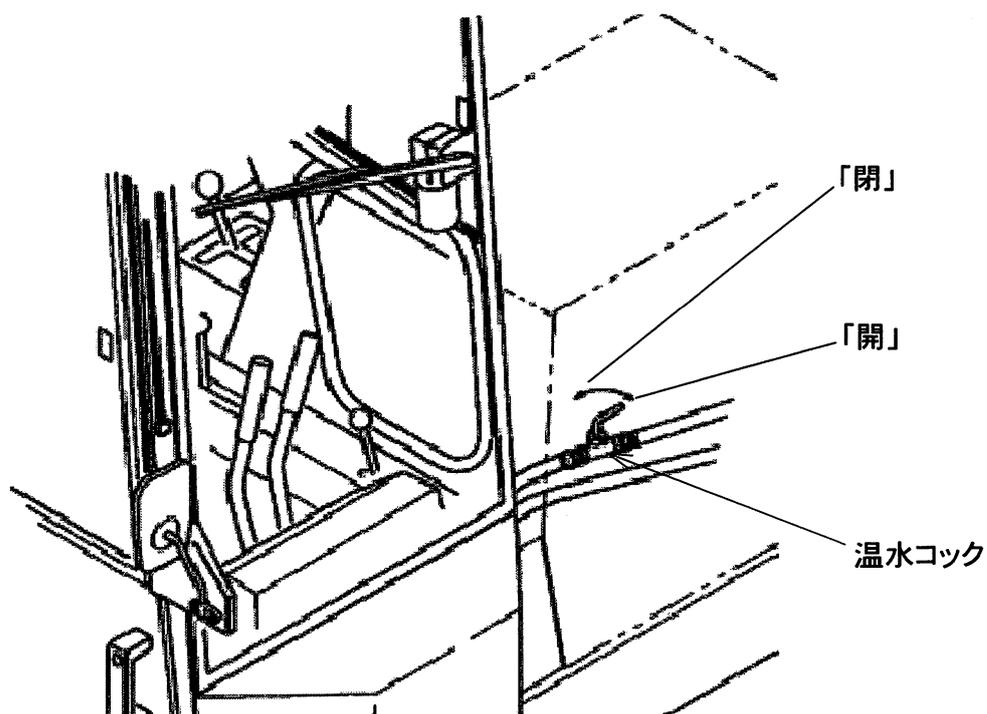


2. ヒータの操作方法



運転中はヒータ本体や温水ホースに触らないでください。
守らないと、やけどをするおそれがあります。

- (1) エンジンルーム内の温水コックを「開」にします。
- (2) 操作パネルのヒータスイッチを操作すると、温風が足元とフロントガラス側に出ます。
- (3) 風量は「HI」「LO」の2段階に切り替えできます。



[取扱いの注意]

- ・ヒータスイッチはエンジンを十分に暖機運転してから操作してください。
暖機運転が不十分な時は温風が出ません。
- ・スタータスイッチが「ON」の時にヒータのファンが回ります。
- ・洗車などの時にヒータに水をかけないでください。
- ・ヒータが必要ない時期は、温水コックを「閉」にしておきます。

3. ワイパーの操作方法

- (1) ワイパースイッチを引くと、ワイパーが動きます。
- (2) ワイパースイッチを戻すと、左側の位置でワイパーが止まります。



[取扱いの注意]

- ・スタータスイッチが「ON」の時に、ワイパーを動かすことができます。
- ・積雪・氷結時は、雪・氷を取り除いてからワイパーを動かしてください。
そのまま動かすとワイパーモータ、ワイパーブレードの損傷の原因になります。
- ・洗車などの時にワイパーモータに水をかけないでください。

4. ルームランプの操作方法

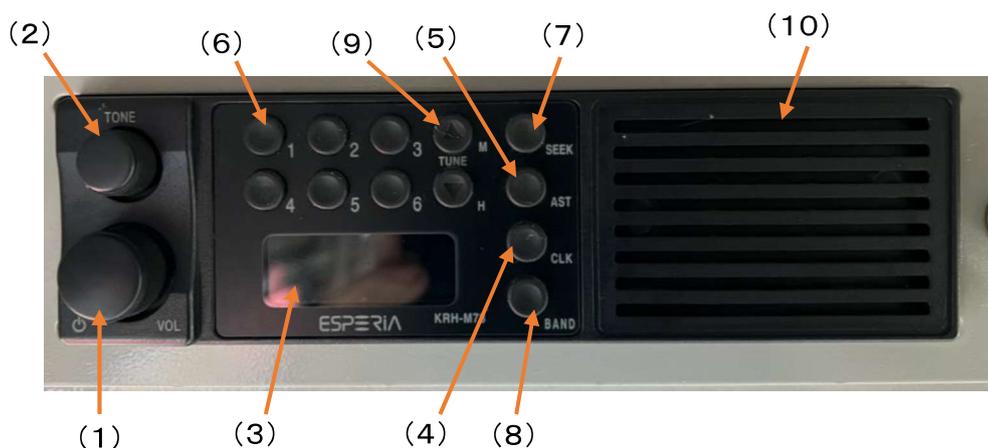
- (1) スイッチを車体前方側に倒すと、ルームランプが点灯します。
- (2) スイッチを車体後方側に倒すと、ルームランプが消灯します。



[取扱いの注意]

- ・スタータスイッチが「OFF」の時でもルームランプを点けることができます。
バッテリー上がりに注意してください。

5. ラジオの操作方法



- (1) 電源／音量調整ツマミ
ツマミを押すと電源が入ります。
右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。
もう一度ツマミを押すと電源が切れます。
- (2) トーンコントロールツマミ
右に回すと高音が強調され、左に回すと高音が低減されます。
- (3) ディスプレイ
時計、ラジオ受信周波数、ボリュームレベル、操作モードが表示されます。
- (4) 時計ボタン
ボタンを押すと表示が時計に変わります。もう一度押すと周波数を表示します。
- (5) オートストア・プリセットスキャンボタン
ボタンを押すとプリセットされている局を約5秒間ずつ受信します。
お聞きになりたい局を受信中にもう一度押すと通常受信に変わります。
また、ボタンを2秒間押し続けるとオートストアになります。
- (6) プリセットボタン
各ボタンにFM、MW（AM）各一局ずつプリセットできます。
- (7) シークボタン
ボタンを押すと自動的に受信可能な局を探し始め、受信できたところで停止します。
- (8) バンドボタン
ボタンを押すとFM、MW（AM）のバンドが切り替わります。
ディスプレイに受信バンドと周波数が表示されます。
- (9) チューニングボタン
上のボタンを押すと周波数が高くなり、下のボタンを押すと低くなります。
ボタンを押し続けると周波数は連続的に変わります。
- (10) スピーカ

- A. ラジオを聞くには
- スタータキーを「ON」位置にして、ラジオの電源ツマミを押し、電源を入れます。
 - 「BAND」ボタンでFMまたはMW（AM）にします。
 - プリセットボタンまたはチューニングボタンで選局します。
 - 音量、音質を好みに合わせて調節します。
- B. シーク（自動）選局について
「SEEK」ボタンを押すと周波数が自動的に高い方へ変化し、放送局を探します。受信可能な放送があると、その周波数で停止して受信します。
- C. マニュアル（手動）選局について
「TUNE」の上のボタンを押すと周波数が高くなり、下のボタンを押すと周波数が低くなります。ボタンを押し続けると周波数は連続的に変わります。
- D. 放送局をプリセットするには
- 「BAND」ボタンを押してFM、MW（AM）を選び、「TUNE」ボタンまたは「SEEK」ボタンを押して放送局を選びます。
 - プリセットしたい番号のボタンを2秒以上押すと、ボタンと同じ番号がディスプレイに表示されプリセットが完了します。
 - 他のボタンもaとbを繰り返し、プリセットします。

[取扱いの注意]

- 一度プリセットしたボタンを2秒以上押すと、プリセットが上書きされます。
- 1～6の各ボタンに受信中のバンドの放送局を1局ずつ記憶させることができます。

E. オートストア・プリセットスキャンについて

- ラジオ受信中に「AST」ボタンを2秒以上押すと現在受信中のバンド内の受信可能な放送局を自動的に探して、プリセットボタン1～6に記憶します。
（オートストア）
- ラジオ受信中に「AST」ボタンを2秒未満押すとプリセットされている局を約5秒間ずつ受信します。もう一度押すと通常受信に切り替わります。
（プリセットスキャン）

[取扱いの注意]

- オートストアを行うと前に記憶されていた放送局は解除されます。
希望するボタンに記憶されない時はプリセットしてください。

F. 時計を合わせるには

- ラジオの電源を入れます。ディスプレイが周波数表示になっている時は、「CLK」ボタンを押して時計表示にします。
- 「CLK」ボタンを押しながら、「TUNE」の上のボタンを押すと分が、「TUNE」の下ボタンを押すと時間が修正できます。

[取扱いの注意]

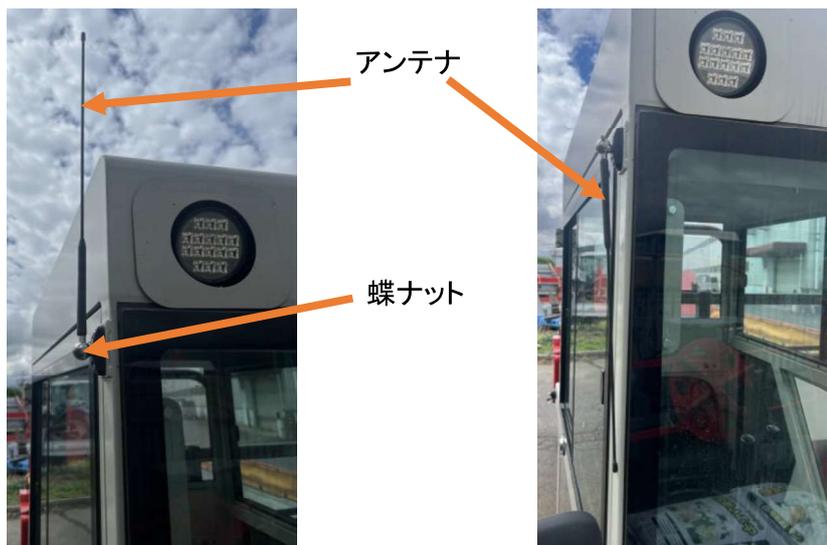
- 洗車等の時、ラジオに水をかけないでください。

G. リセットについて

周波数表示が違ふ、切り替えができないなどの不具合の時は、スタータキー「ON」ラジオの電源オフの状態です「AST」と「CLK」ボタンを押しながらプリセットボタン「3」を押してラジオをリセットしてください。ディスプレイに「FR」と一瞬表示されてラジオがリセットされ、プリセット局と時計が初期化されます。

H. アンテナについて

蝶ナットを緩めるとアンテナを折りたたむことができます。折りたたんだ後は蝶ナットを締めてください。

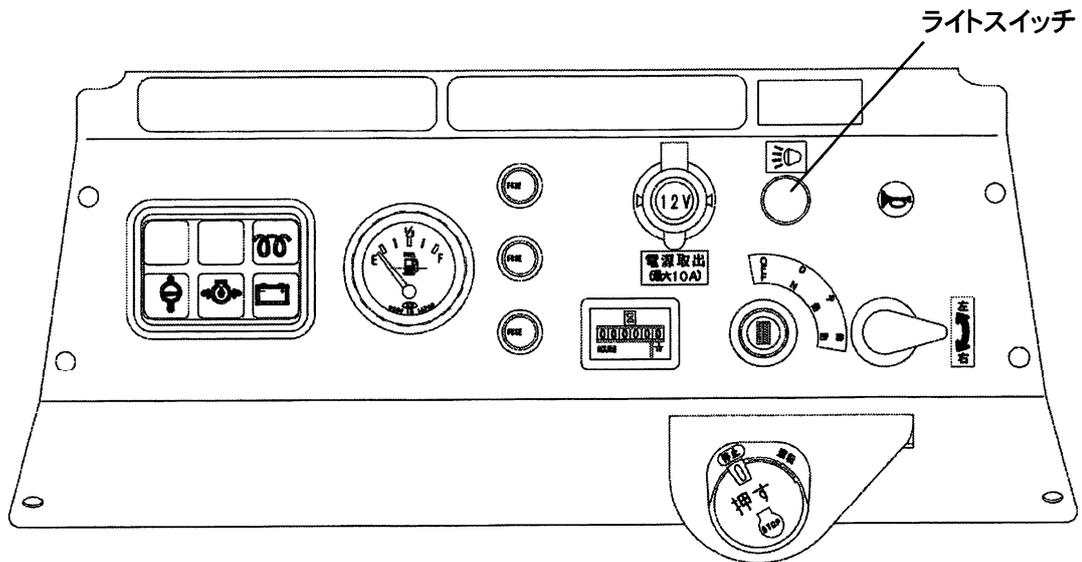


ラジオ使用時のアンテナの状態

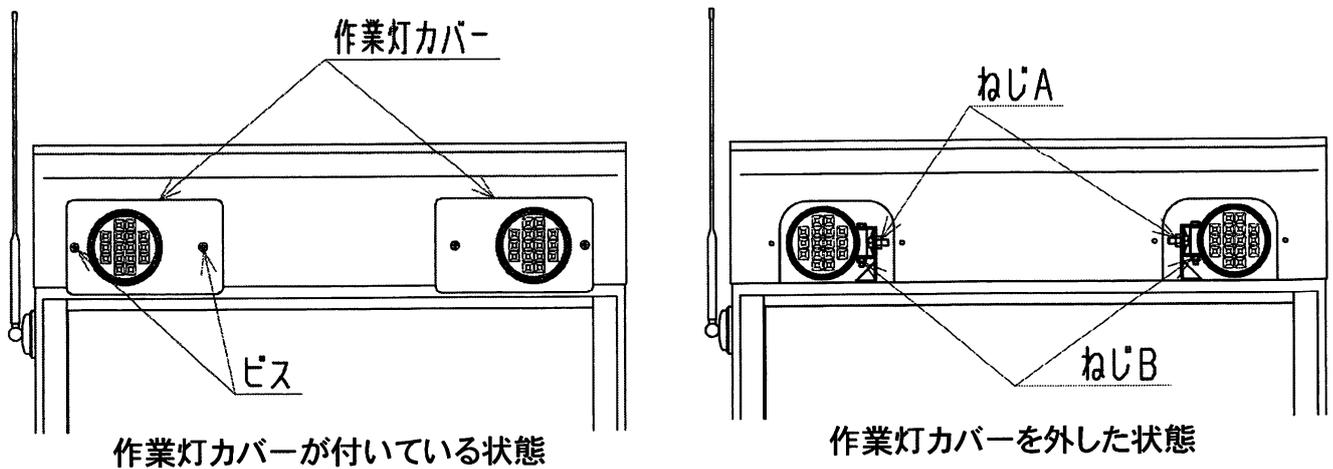
アンテナを折りたたんだ状態

6. 作業灯

メータパネルのライトスイッチを引くと作業灯が点灯し、押すと消灯します。



作業灯カバーを固定しているビスを外すと、作業灯カバーが外れます。
作業灯を固定しているねじを緩めると角度を変えることができます。
ねじAを緩めると上下方向、ねじBを緩めると左右方向の角度を変えられます。
希望する角度になりましたら、ねじを締めてください。



[取扱いの注意]

- ・スタータスイッチが「OFF」の時でも作業灯を点けることができます。
バッテリー上がりに注意してください。

■点検と整備



点検、整備、修理あるいは清掃する時は、必ずエンジンを停止してください。
守らないと機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

点 検 項 目	点 検 内 容	備 考
ドアハンドル、窓	損傷	作業前毎
電装品の作動	動作	作業前毎
温水ホース	損傷、水漏れの有無	作業前毎、5年毎ホース交換

■故障と対策

下の表には簡単な故障の原因とその対策方法を記載してあります。

機械の調子が悪い時は、この表を参考にしてください。

原因がわからない場合、対策が困難な場合は早めにお買上げの販売店、サービス工場へご相談ください。

状 況	原 因	対 策
電装品が作動しない ヒータ、ワイパー 作業灯、ルームランプ	ヒューズ切れ	メータパネルのヒューズを点検
	バッテリー放電	バッテリーを充電する
	各電装品の故障	サービス工場での修理
電装品が作動しない ラジオ	ヒューズ切れ	ラジオ後部のヒューズ (2箇所)を点検
	ラジオの故障	サービス工場での修理

調 整

S-250701A

千 歳 本 社 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千 歳 営 業 所 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

豊 富 営 業 所 098-4100 天 塩 郡 豊 富 町 字 上 サ ロ ベ ッ 1 1 9 1 番 地 4 4
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯 広 営 業 所 080-2462 帯 広 市 西 2 2 条 北 1 丁 目 1 2 番 地 4
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中 標 津 営 業 所 086-1152 標 津 郡 中 標 津 町 北 町 2 丁 目 1 6 番 2
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花 巻 営 業 所 028-3172 岩 手 県 花 巻 市 石 鳥 谷 町 北 寺 林 第 1 1 地 割 1 2 0 番 3
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙 台 営 業 所 984-0032 宮 城 県 仙 台 市 若 林 区 荒 井 5 丁 目 2 1 - 1
TEL 022-353-6039
FAX 022-353-6040

小 山 営 業 所 323-0158 栃 木 県 小 山 市 梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

東 海 営 業 所 485-0081 愛 知 県 小 牧 市 横 内 字 立 野 6 7 8 - 1
TEL 0568-75-3561
FAX 0568-75-3563

岡 山 営 業 所 700-0973 岡 山 県 岡 山 市 北 区 下 中 野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊 本 営 業 所 861-8030 熊 本 県 熊 本 市 東 区 小 山 町 1 6 3 9 - 1
TEL 096-389-6650
FAX 096-389-6710

都 城 営 業 所 885-1202 宮 崎 県 都 城 市 高 城 町 穂 満 坊 1 0 0 3 - 2
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233